

## 2017 年度事業報告

「食べ物をたいせつにし、互いを支えあう社会をつくりたい」との思いを持って取り組んだ 2017 年度の事業報告をおこないます。

### 1. 食品提供サービス事業

- ① 今年度の新規登録団体のほとんどがこども食堂実施団体で、結果、こども食堂実施団体への食品提供を 100ヶ所（大阪府内実施 219ヶ所中）をこえることとなりました。また新たな取り組みとして、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成金を活用して、「おすそわけ食宅配（個別宅配）」と「おすそわけ食マーケット（パントリー）」のモデル実施に取り組みました。個別宅配の実績として、のべ 24 世帯・延べ 109 セットを届け、パントリーの取り組みでは延べ 335 名に食品提供をおこないました。引き続き、社会福祉法人が運営する児童養護施設、母子支援施設、障がい者・児支援施設、特別養護老人ホームなどへ食品提供を実施しました。
- ② 昨年度に引き続き、各市町村に設置されている「生活困窮者自立支援相談窓口」をつうじて、今日食べるものがないなどの相談者へ、食品提供をおこないました。
- ③ 2017 年度の食材提供サービス事業は 286 団体(施設)に行うこととなりました。

### 2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 余剰食材回収サービス事業は、326 の団体・個人から、205 トンの食品の提供をうけました。1 kgあたり 600 円の評価額とすると 123,000,000 円分の食品をとどけたこととなります。また、引き続き友好団体であるセカンドハーベストジャパンやセカンドハーベスト名古屋、フードバンク関西からも食品のシェアをうけたこと、今年度は、「食品ロス削減」が社会的にクローズアップされたこともあり、フードバンク活動の認知度があがり、多くの企業や市町村からの防災備蓄品の提供が増えた年度となりました。結果、上記の量と金額の活動を行うことができました。
- ② 1 年を通じて、さまざまなイベントに参加し、フードドライブを実施しました。また、1 月から株式会社ダイエーとの協働事業として、堺市 5 店舗、大阪市内 1 店舗でのフードドライブの定期実施が実現しました。

### 3. 調査研究事業

- ① 農林水産省「食品リサイクル促進等総合対策事業」の助成金を活用して、フードバンク活動を通じた食品ロス削減を推進するための検討会全 9 回を実施しました。内容をまとめた報告

書の作成に取り組みました。

### 3. 会員とボランティア

今年度はあらたな会員制度として、応援団「すけっと」を創設しました。

- ① 応援団「すけっと」会員は、80 会員です。
- ② 現在のボランティア登録は 29 名です。

### 4. 広報活動

- ①助成金を活用して、食品ロス削減の取り組みを中心としたパンフレットを作成し、イベント・講演会などで配布しました。
- ② 大学生・高校生のボランティアの受け入れや研究への協力などを積極的におこないました。
- ③ 11 月には AIAI フェスタへ、6 度目の参加をおこない、フードドライブを実施しました。
- ④ 各府、市町村議員の視察の受け入れをおこない、フードバンク活動の必要性をうたえました。
- ⑤ホームページの充実と適宜更新をおこないました。
- ⑥各種団体等へフードバンク活動についての講演をおこないました。

### 5. その他

- ① 事務局体制・ボランティアの充実に取り組みました。